

第3期森林づくり県民税活用事業の執行及び目標達成見込み(令和4年4月末日時点)

資料4

事業名	事業主体 (補助率)	基本方針 (2018-2022)		進捗状況(累計)						目標値	進捗率	備考 (実施状況の評価)		
		成果目標 (5年間)	概算 事業費 (億円)	上段:成果目標/下段:事業費(千円)										
				2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(速報値)	2022 R4	計					
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山の整備														
50% 100%														
防災・減災	みんなで支える里山整備事業【防災・減災】	市町村、森林組合、NPO法人等 (9/10)	防災・減災のために必要な里山の間伐 概ね5,700ha/5年間 → 概ね4,300ha/5年間 ★H31年2月改正	当初 12.7	115 27,041	803 217,172	808 332,661	629 302,654	795 290,000	3,150 1,169,527	4,300 ha	73%	期間後半において、比較的単価の高い搬出間伐等の実施が進み、5年間で約3,000haと目標の7割程度の実施面積となる見込み	
	みんなで支える里山整備事業【ライフライン等保全対策】	市町村 (9/10)	ライフライン沿いの危険木伐採 ★H31年2月改正 概ね55箇所程度/5年間 → 概ね150箇所程度/5年間★R3年3月改正	H31.2変更 13.9	—	63 82,380	67 92,025	37 41,247	10 10,000	177 225,652	150 箇所	118%		
	防災・減災対策緊急治山事業	県 (—)	応急工事及び森林整備		—	—	—	—	—	0	設定なし			
	地すべり防止施設管理サポート事業	県 (—)	地すべり防止区域及び施設の点検、施設管理		—	—	—	—	—	0	設定なし			
	道路への倒木防止事業	県 (—)	県管理道路沿線の危険木伐採 ★H31年2月改正 概ね15箇所程度/5年間 → 概ね20箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	R3.3変更 16.5	—	9 60,000	10 45,000	5 10,000	—	24 115,000	20 箇所	120%		
	地域で進める里山集約化事業	自治会組織、林業事業者等 (定額)	防災・減災のために必要な里山の間伐 概ね5,700ha/5年間 → 概ね4,300ha/5年間 ★H31年2月改正		115 4,911	803 3,941	808 5,017	629 3,762	795 6,750	3,150 24,380	4,300 ha	73%	みんなで支える里山整備事業(防災・減災)の進捗状況と同様	
	河畔林整備事業	県 (定額) 市町村 (9/10)	河畔林整備 概ね120箇所/5年間 (県45箇所) (市町村75箇所) → 概ね175箇所/5年間 (県75箇所) (市町村100箇所) ★R3年3月改正	5.6	13 27,238	20 62,857	21 50,875	27 59,922	5 8,000	86 208,892	75 箇所	115%		
					21 55,903	23 65,608	33 93,561	24 38,605	6 12,000	107 265,677	100 箇所	107%		
住民等による利活用	みんなで支える里山整備事業【県民協働】	市町村、森林組合、NPO法人等 (9/10)	地域住民等の主体的な里山の整備利活用 概ね1,500ha/5年間	8.4	10 21,006	59 49,274	81 94,405	95 112,766	450 50,000	695 327,450	1,500 ha	46%	期間後半において、比較的単価の高い搬出間伐等の実施が進み、実施金額の伸びに比して実施面積が目標に対して低位で推移	
	里山整備方針作成事業	市町村、森林整備協議会等 (10/10)	里山整備方針の作成 120箇所/5年間		84 5,374	16 5,037	12 —	1 —	3 —	116 10,411	120 箇所	97%		
	県民協働による里山整備・利用事業	里山整備利用地域活動推進事業	里山整備利用推進協議会 (10/10)	里山整備利用地域の認定 150地域/5年間 → 里山整備・利活用に取り組む里山整備利用地域数 150地域/5年間 ★R3年3月改正		42 4,744	36 23,731	20 41,946	4 44,820	20 32,382	122 147,623	150 地域	81%	期間前半で地域認定が進んだものの、4年目以降、新規認定数が伸び悩んでいる。
		里山資源利活用推進事業	里山整備利用推進協議会 (3/4)			24 7,111	25 8,515	34 16,508	集計中	23 8,748	106 54,543	150 地域	71%	
2 自立・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用														
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	「子どもの居場所」木質空間整備事業	市町村等 (木造・木質化 1/2) (木のおもちゃ等 3/4)	子どもの居場所の木造・木質化 概ね25箇所程度/5年間 → 概ね30箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	当初 2.0	7 10,699	9 11,442	6 9,941	9 13,397	6 12,500	37 57,979	30 箇所	123%		
		市町村等 (3/4)	子どもの居場所への木のおもちゃ等の設置 概ね150箇所程度/5年間 → 概ね240箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	R元.12変更 2.9	57 9,879	59 9,466	60 10,464	60 10,487	30 9,000	266 49,297	240 箇所	111%		
	木工体験活動支援事業	市町村等 (3/4)	木工工作コンクール応募者数 概ね5,500人程度/年 (2022年度)		4,608 6,692	4,307 7,756	2,913 7,041	4,347 6,346	5,500 7,400	2,913 35,235	5,500 人	53%	新型コロナウイルス感染拡大の影響による応募者数の減	
	木づかい空間整備事業	民間事業者等 (1/2以内、3/4以内) 県 (—)	民間施設・県有施設の木質化・調度品設置 概ね35箇所/5年間 ★R元年12月改正		—	—	10 30,425	10 22,508	10 32,250	30 85,183	35 箇所	86%		
	県産材公共サイン整備事業	市町村等 (3/4以内)	県産材公共サイン等設置枚数 概ね250枚程度/5年間		0 2,837	6 179	10 3,010	41 3,203	42 5,000	99 14,229	250 枚	40%	期間前半では事業の周知に時間がかかった。中盤以降、事業主体である市町村等において、新型コロナウイルス感染症対策等を優先	
林業大学学校教育環境整備事業	県 (—)	男子寮棟机椅子設置		—	—	—	—	—	0 2,918	設定なし				
薪によるエネルギーの地消地産推進事業	市町村、NPO法人、公共的団体等 (3/4以内)	薪流通の仕組み構築モデル件数 10件	1.1	3 3,664	1 1,264	3 3,482	1 872	2 3,750	10 13,032	10 件	100%			
松くい虫枯損木利活用事業 → 森林病害虫被害枯損木利活用(チップ化)事業	市町村 (9/10)	取組を行う市町村 松くい虫被害が確認されている51市町村 → 森林病害虫被害枯損木処理量7,000m3/2年間 ★R3年3月改正	R3.3変更	4 6,566	3 10,524	0 0	— 0	— 0	— 0	7 17,090	51 市町村	14%	期間後半から、モデル的な取組から本格的な利活用に転換	
				—	—	—	5,732	581	6,313	7,000	m3	90%		

事業名	事業主体 (補助率)	基本方針(2018-2022)		進捗状況(累計)						目標値	進捗率	備考 (実施状況の評価)
		成果目標(5年間)	概算 事業費 (億円)	上段:成果目標/下段:事業費(千円)								
				2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(速報値)	2022 R4	計			
3 森林づくりに関わる人材の育成												
里山整備利用地域リーダー育成事業	県 (一)	地域リーダーの養成概ね150人 (累計)	0.3	30	20	63	集計中	30	143	150	95%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大人数を集めた研修等の開催が困難となった。
		森林整備等に携わる人材 概ね4,500人 (累計)		623	1,651	2,585	3,080	3,342	11,281	4,500	60%	
森林セラピー推進支援事業【人材育成等】	県 (一)	森林セラピー地域コーディネーターの育成	0.4	1,160	1,985	1,199	2,489	3,503	10,336	設定なし		
エコツーリズムガイド人材育成事業	県 (一)	エコツーリズムガイドの育成		—	1,540	0	0	1,880	3,420	設定なし		新型コロナウイルス感染症の影響により研修会実施を中止
自然教育・野外教育推進事業	県 (一)	自然教育プログラムのモデル実施校 30校/5年間(小・中・高 各10)	0.1	—	6	1	6	7	20	30	67%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していたプログラム等を中止
				—	241	285	478	862	1,867	校		
4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用												
学校林等利活用促進事業	県 (一) 市町村等 (10/10、9/10)	未整備の学校林の整備 →未整備の学校林の整備・利活用 ★R3年3月改正 約60箇所程度/5年間	1.0	6	13	16	18	18	71	60	118%	
自然保育活動フィールド等整備事業	「信州やまほいく」認定園 (フィールド整備 9/10) (付帯施設整備 1/2)	信州やまほいく認定園のフィールド整備等 約25園程度/5年間	0.3	9	2	6	8	8	33	25	132%	
まちなかの緑地整備事業	市町村、NPO等 民間団体 (1/2、1/3)	県民協働による市街地の緑化整備 概ね25箇所程度/5年間	0.3	4	2	1	1	4	12	25	48%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、整備箇所隣接地を含めた土地所有者との対面での打合せ等が困難
観光地の景観整備 (県単道路橋梁等維持修繕費)	県 (一)	街路樹の整備等を行う街路延長 概ね延べ40km程度/5年間	当初 1.2	14	10	14	7	2	47	40	118%	
観光地等魅力向上森林景観整備事業	市町村 (9/10)	地域の景観に合致した間伐等 概ね85ha程度/5年間 →概ね110ha/5年間 ★H31年2月改正	H31.2変更 2.1	11	43	30	24	10	118	110	107%	
森林セラピー推進支援事業【施設整備等】	市町村 (森林整備 9/10) (施設整備 1/2)	森林セラピー基地の整備 全10箇所/5年間 (累計)	0.5	6	2	0	0	2	10	10	100%	令和3年度は8箇所整備しているが、平成30年度及び令和元年度に着手した箇所の継続整備であることから、成果目標に対してはゼロ表記
5 市町村に対する財政調整的視点での支援												
森林づくり推進支援金	市町村 (定額)	全ての市町村(77市町村)で地域固有の課題解決の取組が行われること	4.5	77	77	77	77	77	77	77	100%	
6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証												
みんなで支える森林づくり推進事業	県 (一)	森林税の使途の認知度 30%	0.6	46	44	38	—	—	44	30	145%	
森林(もり)の里親促進事業	県 (一)	企業・団体等と地域との協定の締結 25件/5年間		5	5	3	4	5	22	25	88%	
地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	県 (一)	(設定なし)		354	205	460	18	500	1,537	設定なし		
地球温暖化防止吸収源対策推進事業	県 (一)	(設定なし)		235	246	25	20	400	927	設定なし		
				2,010	1,660	1,293	1,371	3,000	9,334	設定なし		
				129	45	43	109	457	781			
			事業費計	344,528	829,505	1,038,928	1,002,239	693,970	3,909,170			

参考:長野県森林づくり県民税残高の状況

(単位:千円)

歳入・歳出区分	第2期末	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(見込)	2022 R4(見込)	2023 R5(見込)
歳入 A	733,893	678,494	686,662	685,912	688,056	688,056	130,000
前年度森林税残高 B		733,893	854,797	711,954	358,938	44,755	—
執行可能額 C=A+B		1,412,387	1,541,459	1,397,866	1,046,993	732,810	130,000
活用額							
当年予算		344,528	627,532	1,004,149	961,436	693,970	—
前年度からの繰越予算		213,062	201,974	34,779	40,802	0	—
歳出計 D (=事業費計)		557,590	829,505	1,038,928	1,002,239	693,970	—
森林税残高 C-D	733,893	854,797	711,954	358,938	44,755	—	—